

☆風の市 秋の商品 !!



♪ 秋に採れる南国市の特産品『四方竹(しほうちく)』

♪ 落花生(殻つき)だよ!!



♪ 水晶文旦 出始めました

♪ 琉球の香り シークワサー 登場

深まる秋。道の駅内 JA 高知県直売所『風の市』には旬の野菜、果物が続々登場。今回ご紹介するのはそのほんの一部で、他にも多数入荷中。詳細は店頭でお確かめ下さい。左上の四方竹は一昨年(株)道の駅南国で加工品(水煮・土佐煮・炊き込みご飯の素)をオリジナル商品として開発。大好評につき今年分生産のため、採れたての四方竹を只今鋭意集荷中です。★ご期待下さい!!

猫のしっぽ 連想。(株)道の駅南国には土産品店とレストランの 2 部門があり、日常の業務で金銭の収受が生じ、そこで課題なのが『釣銭』の用意。近年金融機関での両替に信じ難い高額の手数料が必要となり、それを鵜呑みにすると大変なことに。対策として、独自のチャンネルを通じて確保に努めており、先日 100 円硬貨が大量に到来。荷姿が『バラ』なので 50 枚単位に纏めるため袋から出した際誤って何十枚か床にまけて(土佐弁で『こぼれて』の意)しまった。散らばった硬貨を拾い集めていると浮かんだのがビートルズの名曲『エリナー・リグビー』の一節。曰く『E・R 婚礼の終わった教会堂で米粒を拾う』、まさにこの暗喩なのでは?。物を拾う物理的な行為でなく米粒—金銭を集めて日々を過ごす営為。冒頭から唄われる『Ah-見て、全ての孤独な人々を』のサビのリフレインは、『(貧富の別なく)人は皆全て孤独』と解すべきかな?と連想が拵がりました。風猫子